

実習についての注意事項

9月1日（月曜日）集合、9月5日（金曜日）解散となります。初日（月曜日）の午後4時からオリエンテーションを行いますのでそれまでに余裕を持って到着して下さい。最終日（金曜日）は昼前には解散の予定です。実習期間前または実習期間後の宿泊はできませんのでご理解ください。

<持ち物>

滞在に必要なもの

- 日用品と着替え（4泊5日分）
- 洗面用具（シャンプー、リンスは備え付けのものがああります）
- タオル類（バスタオル、タオル）
- 保険証のコピー
- 実習費用（2万円）：（内訳）宿泊費約5千円、食事代約1万5千円、旅行傷害保険約400円、など。旅行傷害保険については参加者全員加入とする。

※ 宿泊施設に洗濯機と乾燥機があります。

※ 島内にATMはありませんので、現金の引き出しはできません。

海に必要なもの

- 水着、サンダル
- 日焼けを防止するもの（サンスクリーン、帽子、長袖のシャツなど。沖縄の陽射しは大変強いので、日焼けに注意。サングラスなどがあると良い）
- スノーケリング用具（フィン、マスク、スノーケル、ブーツ：施設で準備しています。持参もOK）
- ウェットスーツ（持っていない場合は、上はラッシュガードまたは長袖Tシャツ、下は長ズボンのジャージ・タイツ・レギンスなど肌を露出しない服。日焼けと怪我防止のため水着のみで海に入ることは不可）

※ 貸し出し用のダイビングマスクは度付きのものではありません。視力が悪い人は、使い捨てのコンタクトレンズをつけてダイビングマスクをつけることで対応可能です。

※ スノーケリングは講習しますので、未経験でも大丈夫です。

※ 実習中は施設のボートに乗る機会がありますので、船酔をする方は酔い止め薬を準備してください。

講義などで必要なもの

- 筆記用具

- ノートパソコン、USB メモリー（無くても可）

＜那覇から瀬底研究施設までの交通＞

高速バス

那覇空港からは名護行き高速バス（系統番号 111・117 番；30 分～1 時間間隔、所要約 90 分）で、名護バスターミナルまで移動。ここで乗り換えて、本部廻りの本部半島線（系統番号 65 番、25～60 分間隔）の本部港（所要約 30 分）で下車し、待合いのタクシーを利用し瀬底研究施設に到着（所要約 10 分）。

ヤンバル急行バス

那覇空港から本部博物館前まで乗り換え無し（約 1 時間間隔、所要約 2 時間）。そこで待合いのタクシーを拾う（所要 7 分）。

- ※ バス以外に、那覇港から本部港までのフェリーを利用する方法などもあります。
- ※ 職員の時間がある場合は、最寄りのバス停まで迎えに行くことも可能です。タクシーが捕まらない時や、困ったときには施設までお電話ください。

瀬底研究施設（窓口）：0980-47-2888